

会社概要 / 株主メモ

Corporate Profile / Shareholders' Memo

(2019年6月25日現在)

会社概要

商号	こころネット株式会社
発足	2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
代表者	代表取締役社長 齋藤 高紀 代表取締役副社長 菅野 孝太郎
資本金	500百万円
決算日	3月31日
従業員数 (2019年3月31日現在)	グループ: 580名 [外、臨時従業員27名] 単体: 32名
事業内容	グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、不動産管理、総務・経理・人事等の管理

役員

代表取締役社長 齋藤 高紀	取締役 伊藤 信弘
代表取締役副社長 菅野 孝太郎	取締役 (常勤監査等委員) 三浦 隆夫
取締役 菅野 松一	取締役 (監査等委員) 大出 隆秀
取締役 澤田 正晴	取締役 (監査等委員) 菅野 晴隆
取締役 羽田 和徳	

株主メモ

上場市場	東京証券取引所ジャスダック市場
上場日	2012年4月25日
証券コード	6060
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL: http://cocolonet.jp/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。 http://www.tr.mufig.jp/daikou/



こころネット株式会社
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <http://cocolonet.jp/>



※環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。



感動のある人生を。
こころネットグループ

株主の皆様へ

2019年3月期のご報告

証券コード 6060



前中計の成長投資を、新中計で花開かせる。

代表取締役社長
齋藤 高紀



私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらす
サービスを提供いたします。

— グループ理念 —

Q1 当期(2018年度)は中期経営計画の最終年度でしたが、3か年を振り返って評価をお願いします。
想定以上の事業環境の変化により目標を下回りましたが、次の中計に向け一定の成果は得られたと考えています。

前中期経営計画(2016~2018年度)では、2016年度に最終年度目標を上回ったことから、利益目標を上方修正した新たな目標を設定し、達成に向けて取り組んできました。しかしながら、2018年度の最終実績は目標を下回る結果となりました。前期比でも、売上高は2.0%減、営業利益は35.9%減、経常利益は39.7%減となりました。ただし、親会社株主に帰属する当期純利益については、特別利益の増加などから14.5%増となりました。

この中計3年間は、加速する少子高齢化や時流の変化により、儀式・埋葬形態の変化、ニーズの多様化、競争激化などが想定以上に進行しました。具体的には、葬儀施行単価の低下(葬祭事業)、墓石需要の低迷や墓石単価の低下(石材事業)、婚礼施行件数の減少(婚礼事業)など環境面の急激な変化が各事業で発生しました。売上未達の最大の要因は、こうした変化への対応力が不足したことであると反省しております。

また、これまでの3年間で、事業再編やM&A、設備・システム・新規事業等への投資など、将来につなげるための各種投資を行ってきました。2018年度以降の取組みでも、株式会社たまのや

による有限会社玉橋の吸収合併、株式会社北関東互助センターの完全子会社化、家族葬専用葬祭会館の新設や既存葬祭会館のリノベーション、既存婚礼会場のリブランドオープン、全社システムの刷新などを行いました。利益未達の主な要因は、売上高の減少に加え、こうした成長投資に伴うコスト増によるものです。なお、これらの投資効果は、次期以降に随時発現してくるものと期待しております。

■ 連結業績の推移 (単位:百万円)

	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2018年度 当初目標	2018年度 修正後目標
売上高	11,670	10,933	10,717	11,582	11,582
営業利益	885	796	510	627	865
経常利益	1,013	839	506	719	887
親会社株主に帰属する 当期純利益	567	245	281	-	-

Q2 2019年度よりスタートする新中期経営計画について、概要をお教えてください。
前中計の修正目標への再チャレンジに向け、新たな3か年の取組みを開始しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き大きな変化の只中にあります。日本経済は、海外経済の停滞が波及し、2019年

3月の景気動向指数が6年ぶりに「悪化」に転化するなど、先行き不透明感が増えています。また、日本の人口動態は、65歳以上人口が総人口の25%を超え、2025年には団塊の世代が75歳以上に到達する超高齢社会が間近に迫っています。そうした中、冠婚葬祭・石材関連市場においても総じて規模の縮小が進んでいます。また、企業経営を取り巻く環境についても、ESG推進やSDGs参画など、CSV(共創価値)に対する関心が高まりを見せています。更に、技術的革新や労働市場の動向などにも注視し、適応していく必要があります。

このように変化の激しい環境下での成長を目指し、当社グループでは、新たに2019年度を初年度とする3か年の中期経営計画を策定いたしました。新中計最終年度(2021年度)の数値目標は、売上高11,590百万円、営業利益860百万円、経常利益930百万円と、前中計において未達となった修正目標に近い目標を設定しております。いわば再チャレンジとなる目標を達成するために、当社は次の3つの基本方針を掲げております。

1

「使う力」を
駆使して
「稼ぐ力」を創出

2

成長分野への
資源集中

3

生産性追求と
働く環境の整備

※ 新中期経営計画の詳細は、P5-6「特集: 新中期経営計画の概要」をご覧ください。

Q3 新中期経営計画において最も重視するポイントをお聞かせください。
前中計で行った積極的な成長投資を受け、新中計ではその効果を発現させ、「稼ぐ力」を創出してまいります。

前中期経営計画では、基本方針の第一項目として、「「稼ぐ力」の創出と安定成長」を掲げ、「稼ぐ力」を創出するべく、前述のとおり成長投資を多方面で展開してきました。その結果、「稼ぐ力」

の基盤はある程度整ってきました。

そこで、新中期経営計画では、基本方針の第一項目として、「「使う力」を駆使して「稼ぐ力」を創出」を掲げました。「稼ぐ力」の創出とは、既存事業における競争力の強化、成長市場における事業拡大、人財が育つ企業風土づくりなど、より高い付加価値の創出を意味しており、新中計ではこれを実現していくことが最も重要な目標であると考えております。そして、その実現のためには、「使う力」の駆使が必要であると考えています。「使う力」の駆使とは、設備等の有形資本から、人的資本・知的資本等の無形資本まで、経営リソース全般の「使う力」を錬磨し、積極的な投資やアライアンスも含めて資本配分の最適化を図っていくことです。

当社グループは、新中計の3年間の取組みによって、必ずや「稼ぐ力」の創出を実現してまいります。

Q4 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

高収益体質への転換を図り、株主価値の最大化に努めてまいります。

今後、トップラインの拡大に加え、より高収益な体質への転換を図るために、成長分野への資源集中、生産性追求、更には持続的な成長に不可欠な人財開発の充実と働く環境の整備を推進してまいります。また、株主の皆様に対して適切な配当を安定的に行っていくことを重要な経営課題と認識し、株主価値の最大化に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

前中期経営計画(2016年度～2018年度)においては、
「事業再編」、「重点事業分野の拡大」、「新たな取組み」という3つの重点施策に沿って
以下のような取組みを積極的に推し進め、
将来の収益基盤を着実に築き上げてまいりました。

■ 前中期経営計画(2016年度～2018年度)重点施策の主な実施状況

<p>事業再編</p>	<p>2016年7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (株)ハートラインが(株)互助システムサークルを吸収合併(互助会事業) <p>2017年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 石材卸売・小売事業をカンノ・トレーディング(株)として1社に統合 ■ 大型婚礼会場を休館(2018年3月売却)、小規模婚礼会場をオープン <p>2017年9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (株)たまのやが(有)牛久葬儀社を吸収合併(葬祭事業) <p>2019年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (株)たまのやが(有)玉橋を吸収合併(葬祭事業) <p>全社に係るシステム刷新、BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)を推進</p>	 <p>小規模婚礼会場「廻郡山」</p>
<p>重点事業分野の拡大</p>	<p>2017年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生花・装束事業を(株)フルールとして分離 <p>2018年7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 家族葬専用会館をオープン <p>葬祭事業において、既存会館4施設をリノベーション</p>	 <p>家族葬専用会館「こころ斎苑 SOU取手」</p>
<p>新たな取組み</p>	<p>2017年12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (有)玉橋と経営統合(葬祭事業) <p>2018年1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 屋内納骨堂「本所廟堂」の販売代行を開始(石材小売事業) <p>2018年12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (株)北関東互助センターと経営統合(葬祭・互助会事業) 	 <p>屋内納骨堂「本所廟堂」</p>  <p>北関東互助センターと経営統合</p>

TOPICS
1

株式会社たまのやと有限会社玉橋を合併

2019年4月1日付で、株式会社たまのやを存続会社、有限会社玉橋(2017年M&Aにより子会社化)を消滅会社とする吸収合併を行いました。両社はともに葬祭事業を営んでおり、本合併により経営資源の集中と更なる組織の効率化を図りました。



もとみや斎場

TOPICS
2

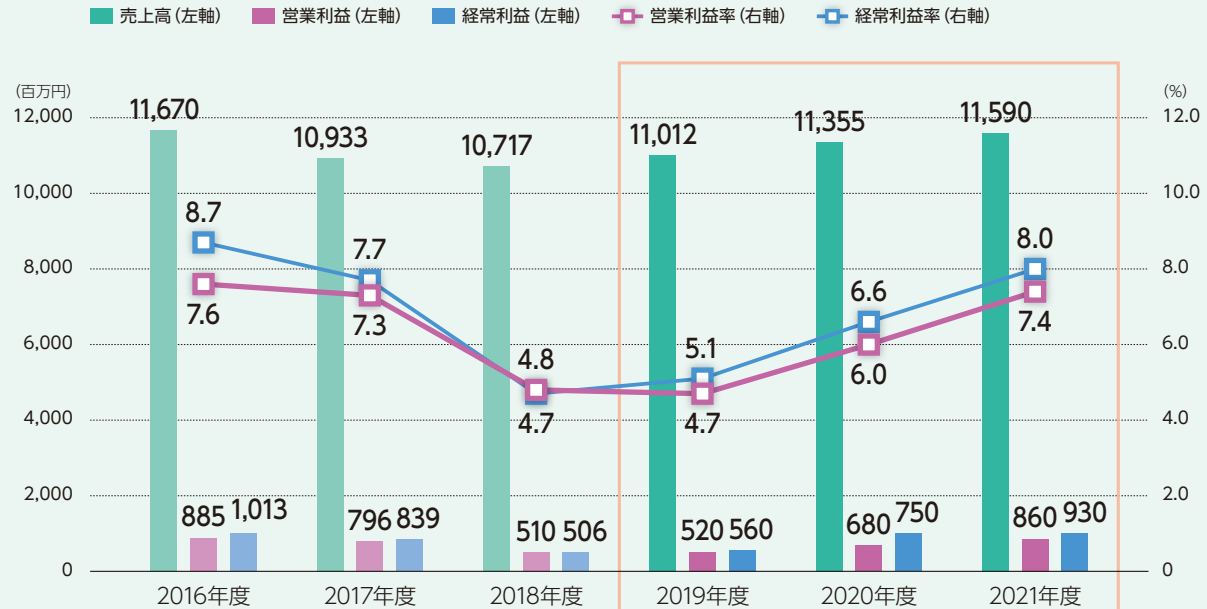
婚礼会場をリブランドオープン

婚礼事業を営んでいる株式会社With Weddingは、福島県福島市の婚礼会場「SP VILLAS サンパレス福島」をリニューアルするとともに、パーティー会場のコーディネート、コンセプト等を一新し、「Coeur a Coeur Liente SUNPALACE(クワクワリアンテ サンパレス)」としてリブランドオープンいたしました。

<p>施設タイプ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1階 エントランス(リニューアル) カフェレストラン(リニューアル) 2階 ドレスサロン、ウェディングサロン 3～5階 パーティー会場4室(内2室リニューアル) 6階 チャペル(リニューアル)
<p>リブランドの概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ エントランス オープンテラスを設け、開放感のある空間へ ▶ カフェレストラン 通常はランチ、カフェメニューをご提供 レストランウェディングや結婚式の二次会等での利用も可能 ▶ パーティー会場 「スマイルウェディング」クリエイティブディレクターのワキリエ氏プロデュースでコンセプトを一新 ▶ チャペル 映像設備を新設、チャペルムービーによる演出に対応

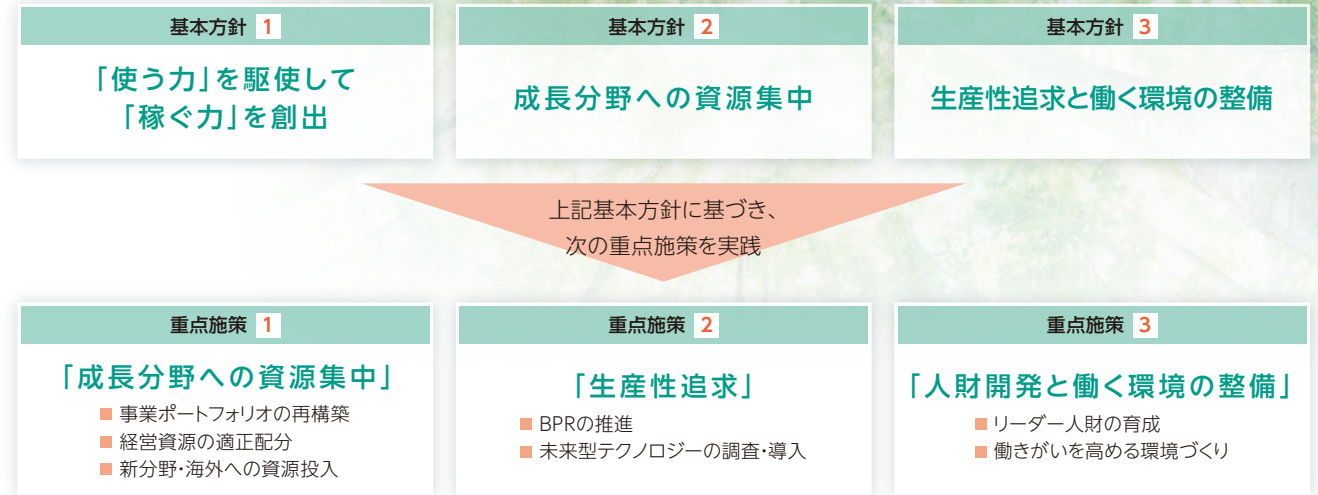


「使う力」を駆使して「稼ぐ力」の創出を目指す

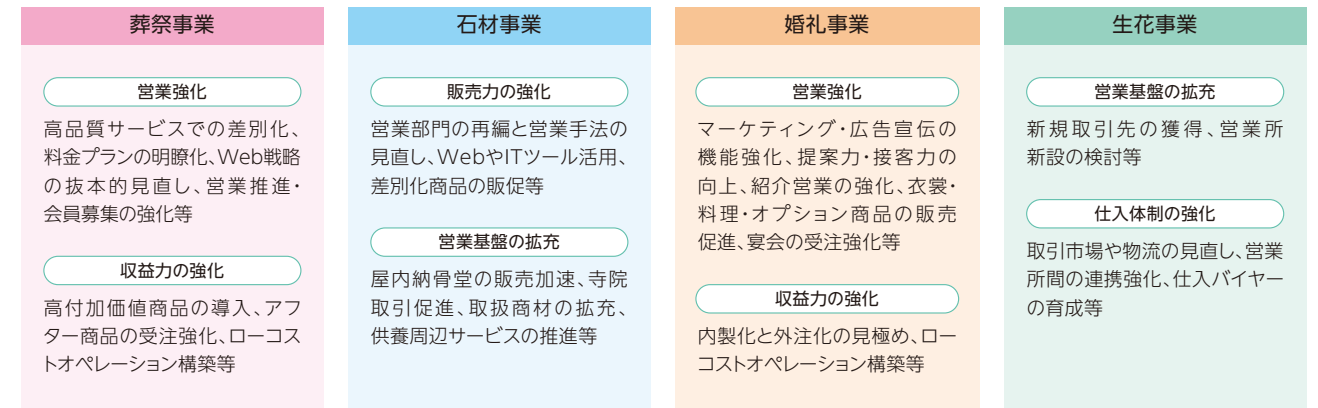


数値目標 (連結) 単位:百万円	前中期経営計画		新中期経営計画			2019年度 からの増加率
	2018年度 (実績)	2019年度 (目標)	2020年度 (目標)	2021年度 (目標)		
売上高	10,717	11,012	11,355	11,590	8.1%	
営業利益	510	520	680	860	68.7%	
営業利益率 (%)	4.8	4.7	6.0	7.4	2.6ポイント	
経常利益	506	560	750	930	83.7%	
経常利益率 (%)	4.7	5.1	6.6	8.0	3.3ポイント	

新中期経営計画 基本方針及び重点施策



新中期経営計画 事業別施策



■ 連結貸借対照表(要旨)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

	前期末 2018年3月31日現在	当期末 2019年3月31日現在
流動資産	4,801	4,273
現金及び預金	2,578	2,635
受取手形及び売掛金	841	636
商品及び製品	424	379
その他	958	620
固定資産	15,624	16,586
有形固定資産	9,962	10,421
無形固定資産	248	506
投資その他の資産	5,413	5,658
資産合計	20,425	20,859

	前期末 2018年3月31日現在	当期末 2019年3月31日現在
流動負債	1,930	1,850
買掛金	342	333
短期借入金	180	-
1年内返済予定の長期借入金	570	692
その他	836	824
固定負債	9,660	10,055
長期借入金	1,190	776
前払式特定取引前受金	7,839	8,706
その他	631	572
負債合計	11,590	11,906
株主資本	8,703	8,869
資本金	500	500
資本剰余金	2,032	2,032
利益剰余金	6,171	6,337
その他の包括利益累計額	131	82
純資産合計	8,835	8,952
負債・純資産合計	20,425	20,859

■ 連結損益計算書(要旨)

	前期 2017年4月 1日～ 2018年3月31日	当期 2018年4月 1日～ 2019年3月31日
売上高	10,933	10,717
売上原価	7,301	7,312
売上総利益	3,632	3,404
販売費及び一般管理費	2,836	2,894
営業利益	796	510
営業外収益	165	170
営業外費用	122	174
経常利益	839	506
特別利益	18	57
特別損失	812	159
税金等調整前当期純利益	45	404
法人税等合計	△199	122
当期純利益	245	281
親会社株主に帰属する当期純利益	245	281

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

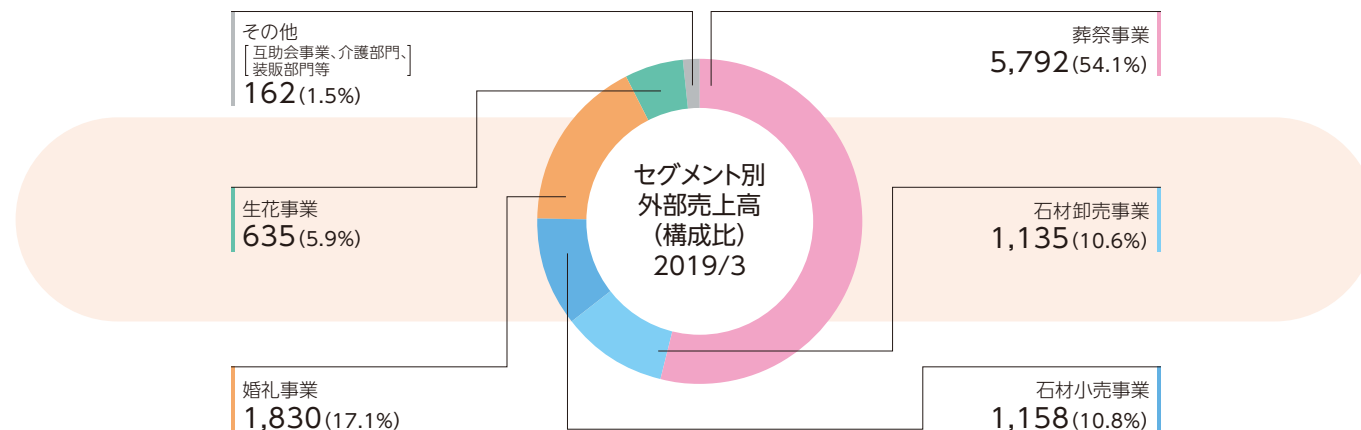
	前期 2017年4月 1日～ 2018年3月31日	当期 2018年4月 1日～ 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	477	1,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	124	△417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△576	△690
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26	175
現金及び現金同等物の期首残高	1,659	1,686
現金及び現金同等物の期末残高	1,686	1,861

配当政策

当社は、企業の発展を通じて株主の皆様のご支援にお応えするために、適切な配当を安定的に行い、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を確保していくことを利益配分の基本方針といたしております。2019年3月期の1株当たり年間配当金については、30円(中間配当15円・期末配当15円)といたしました。なお、2020年3月期の1株当たり年間配当金は30円を予定しております。

■ セグメント別外部売上高(構成比)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。



業績・財務コメント

■ 連結貸借対照表

流動資産：受取手形及び売掛金、有価証券、未収還付法人税等が減少したこと等により、528百万円減少。

固定資産：前払式特定取引前受金保全のための金銭供託により供託金の増加及び、株式会社北関東互助センターの完全子会社化等に伴う有形固定資産合計額、のれんが増加したこと等により、962百万円増加。

流動負債：1年内返済予定の長期借入金が増加した一方で、短期借入金が増加したこと等により、79百万円減少。

固定負債：長期借入金が増加した一方で、株式会社北関東互助センターの完全子会社化等に伴い前払式特定取引前受金が増加したこと等により、395百万円増加。

純資産：その他有価証券評価差額金が増加した一方で、利益剰余金が増加したこと等により、117百万円増加。

■ 連結損益計算書

売上高の状況：葬祭事業の既存会館、石材卸売事業及び石材小売事業が低調に推移したこと等により前期比216百万円減少。

利益の状況：売上高減収及び経費や営業外費用が増加したこと等により減益となり、営業利益は285百万円、経常利益は332百万円減少。親会社株主に帰属する当期純利益は固定資産の減損損失を特別損失に計上したものの、投資有価証券売却益や補助金返還損失引当金戻入額の計上で特別利益が増加したこと等により35百万円増加。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動により得られた資金は1,283百万円となりましたが、主に借入金の返済等の財務活動に690百万円使用しました。その結果、当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べて175百万円増加し1,861百万円となりました。

たまのや 福島県内：葬祭会館 22施設、仏壇・仏具販売店 2店舗 茨城県内：葬祭会館 2施設



With Wedding 福島県内：婚礼会場 6施設



カンノトレーディング 福島県内：石材小売店舗 5店舗 長野県内：石材小売店舗 1店舗



北関東互助センター 栃木県内：葬祭会館 3施設 ころころガーデン 福島県内：サービス付き高齢者向け住宅 1施設



株式の状況

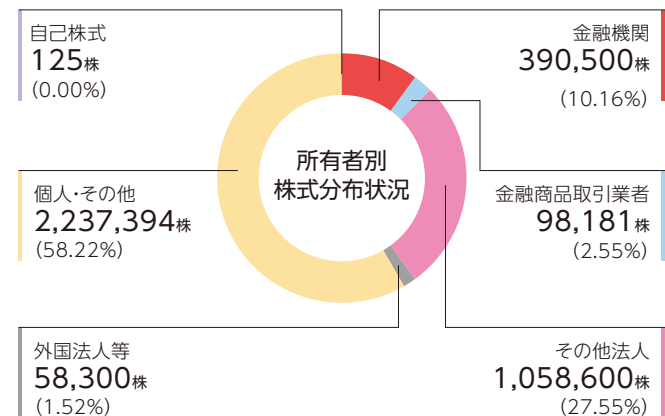
発行する株式の総数 5,100,000株
 発行済株式の総数 3,843,100株
 株主数 1,026名

大株主

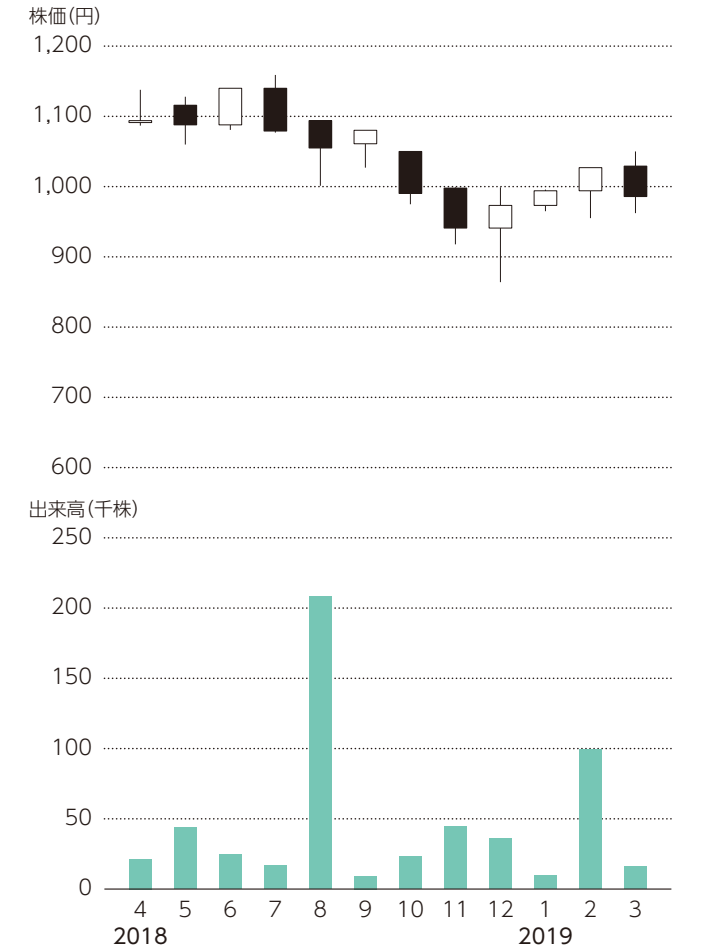
株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
カンノ合同会社	970,000	25.24
齋藤 高紀	386,870	10.07
川島 利介	274,975	7.15
こころネットグループ従業員持株会	186,140	4.84
(株)東邦銀行	175,000	4.55
(株)福島銀行	135,000	3.51
内藤 征吾	114,000	2.97
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	77,900	2.03
齋藤 フヨ	74,830	1.95
菅野 孝太郎	70,540	1.84

※カンノ合同会社は、当社取締役菅野松一氏並びにその親族の保有資産の管理を行う会社です。

所有者別株式分布状況



株価・出来高の推移



(2019年3月31日現在)

